

あなたのお家、
地震に耐えられますか？

木造住宅無料耐震診断

昭和56年5月31日以前に着工した一戸建ての木造住宅を、県に登録の「木造住宅耐震相談士」が^①無料、で診断し、あわせて耐震補強にかかる補強計画と概算の補強工事費用を算出します。
令和8年度の申し込み期限は12月18日（金）までです。

木造住宅耐震補強工事費助成

診断の結果、「倒壊する可能性がある」などと判定された住宅の耐震補強工事を行った場合、その費用の一部を助成（限度額200万円）します。
令和8年度申請は令和9年1月中旬に工事を完了できるものに限ります。

耐震シェルター等設置工事費助成

診断の結果、「倒壊する可能性がある」などと判定された住宅に耐震シェルターまたは耐震ベッドの設置工事を行った場合、その費用の一部を助成（限度額30万円）します。
※いずれも事前に申請が必要です。

ブロック塀などの安全確保は、所有または管理されている人の責任となります。
町ホームページの「ブロック塀等の点検のチェックポイント」を参考に安全点検をお願いします。



問 都市計画課 都市計画整備係 ☎22-7513



2 新たな防災気象情報の運用開始について

令和8年5月29日から、警戒レベルと避難などの行動を分かりやすくするため、新たな防災気象情報の運用が開始されました。主な変更点は、レベルに合わせて警報・注意報の情報が発信されたこと（例：レベル3 大雨警報）、警戒レベル4相当の情報として危険警報が新設されたことです。

警戒レベルと合わせて発表される情報と取るべき対応は、表のとおりです。警戒レベルと取るべき行動を確認し、警戒レベル4までには危険な場所から必ず避難をするようにしましょう。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	(警戒レベルごとに) 住民が取るべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する 人は早めに避難、避難の準備等
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認 避難場所や避難ルート、 避難のタイミングなど
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

避難をする際は、避難所への避難だけではなく、ハザードマップや自宅を含めた周辺の環境を確認し、適切な防災行動を検討しましょう。

水平避難・立ち退き避難

避難までに十分な時間と余裕がある場合は、近隣の避難先ではなく、川や山から離れ、より安全な場所へ避難を行いましょう。



垂直避難・屋内安全確保

急激な降雨や浸水により屋外での避難行動が困難な場合は、浸水による倒壊の危険がないことを確認し、自宅や隣接建物の2階以上など、より高い場所に避難しましょう。



⚠ 悪天候の時に川や山の様子を見に行くことは非常に危険です。絶対にやめましょう。

3 防災行政無線などの情報を取得

垂井町では、防災行政無線で放送した内容を次の方法で確認することができます。また、令和8年8月3日から、気象庁が発表する気象情報を町公式LINEとメール配信サービス「たるいボイス」にて配信を開始しています。アプリなどを登録し、町からの情報を取得しましょう。

町公式LINE

登録者に緊急情報やお知らせを発信します。「垂井町」と友達検索、または二次元コードから。



防災アプリ

登録者に緊急情報を発信します。下記二次元コードからインストールしてください。多言語対応です。

 iOS

 Android

たるいボイス

登録者に緊急情報を配信します。

 PC / スマホ

 フィーチャーフォン (ガラケー)

4 今回の特集について

様々な技術の進化や情報網の発達により、災害による被害想定などの情報はより詳細なものになり、アプリやウェブサイトなどによる情報収集は多様化かつ便利なものになっています。
様々なメディアから情報収集を行うことで、関心を高め、実際の行動に活かすことに繋がります。しかし、入手した情報は、根拠が曖昧であったり、誤った情報である可能性もあるため、鵜呑みにするのではなく、他のメディアの情報と比較することなどが重要です。
自分の身の周りの災害などの危険性を知ると、取るべき対策などが明確になります。まずは、防災について関心を持ち、情報収集を行うところからはじめてみましょう。

問 企画調整課 生活安全係 ☎22-1152



▲能登半島地震による被害の様子
石川県ホームページから引用

特集
災害の備えは情報から
～正しい情報を知り、命を守る行動を～

自然災害はいつ、どこで起こるか分かりません。
地震、大雨などの災害発生に慌てることなく適切に行動ができるよう、日頃から正しい情報を収集し、防災の準備を進めておくことが重要です。災害の備えを行うにあたって、発生しうる災害や災害が発生した際の危険箇所などを知ることは、適切な防災活動をとるために重要です。ハザードマップの確認や気象情報のチェック、避難経路の検討など、身近な情報を活用して安心・安全な生活を守りましょう。
今回は、垂井町に大きな被害をもたらす可能性のある地震の情報と、今年の5月29日から運用が開始された新たな防災気象情報について紹介します。

1 垂井町に大きな被害をもたらす地震とは

垂井町に大きな被害をもたらす可能性がある地震として、代表的なものは南海トラフ地震と養老一桑名一四日市断層地震が挙げられます。垂井町における被害想定などについては、それぞれ表のとおりです。

南海トラフ地震				養老一桑名一四日市断層地震			
最大震度	建物被害	死者	負傷者	最大震度	建物被害	死者	負傷者
 6 弱	 全壊 349棟 半壊 1,163棟	 4 人	 175 人	 7	 全壊 4,808棟 半壊 4,082棟	 274 人	 1,616 人

出典：岐阜県「平成23～24年度 南海トラフの巨大地震等被害想定調査」

南海トラフ地震による垂井町の最大震度は、6弱と想定されています。南海トラフ地震では垂井町だけではなく、日本各地で大きな被害をもたらすと予想されており、物流にも大きな影響を与えるため、**1週間分の食料など備蓄を準備**することが推奨されています。

養老一桑名一四日市断層地震による垂井町の最大震度は7と想定されており、垂井町における建物被害や人的被害は南海トラフ地震による被害想定を上回ります。

科学や技術が発達した現代においても、地震がいつ発生するのかを正確に予測することはできません。垂井町に大きな被害をもたらす地震がいつ発生してもおかしくないという認識を持ち、各家庭で必要な準備や対策を行いましょう。



企画調整課 生活安全係 宮崎 諒